

NEWS RELEASE (2022年1月17日)

小型ハイブリッドロケット(鹿児島ロケット3号機 ユピテル号)

打上げ実験と一般見学の規制等について

報道機関 各位

平素より大変お世話になっております。本学鹿児島ハイブリッドロケット研究会と肝付町が共催で実施する小型ハイブリッドロケット(鹿児島ロケット3号機 ユピテル号)の打上げ実験と一般見学の規制について、以下のとおりお知らせいたします。つきましては是非取材・報道くださいますようお願い申し上げます。

【経緯】

鹿児島大学大学院理工学研究科 地域コトづくりセンター所管の鹿児島ハイブリッドロケット研究会(Team KROX)は、平成28年度から小型ロケットの開発に取り組んでいます。令和2年12月に打上げた2号機は高度1km以上に到達し、さらに改良を重ねた3号機の機体が完成しました。今回も肝付町との共催で打上げが決定しましたので、打上げ実験の期間と場所等についてお知らせいたします。

また、今回の鹿児島ロケット3号機打上げ実験に対し、株式会社ユピテル様、株式会社ソフト99コーポレーション様、株式会社九州経済研究所様、日本モレックス合同会社様から寄付による多額のご支援をいただきました。機体は「鹿児島ロケット3号機 ユピテル号」と命名することといたしました。

【打上げ日時と場所】

打上げ日時: 令和4年3月16日(水)13:00~17:00

予備日 翌3月17日(木)~19日(土)

打上げ場所: 鹿児島県肝属郡 肝付町 辺塚海岸

【共催】

鹿児島ハイブリッドロケット研究会と肝付町の共催で打上げ実験を実施します。

【ロケット諸元】

機体 : 全長2.6m、直径140mm、質量18kg (全長、質量は微調整の可能性あり)

燃料・酸化剤 : アクリル樹脂等・液体酸素

計画到達高度: 約1.5km

【現地取材】

当日取材に来られる報道機関等は、鹿児島大学で実施する安全教育の受講を必須といたします。詳細は別紙1をご覧ください。

現地取材の概要を予めご説明いたします。3号機では2号機よりも計画到達高度を高く設定しているため、警戒区域も拡大して射点から半径1.5kmとしました。なお、射点を見通せる見学場所の調査と整備(植生の伐採等)を可能な限り行いましたが、2号機時よりもかなり狭くなりました。

そのため、撮影場所を制限させていただくこととなりました。詳細は別途ご連絡いたします。なお、打上げ前日のリハーサル時と、打上げ当日のロケット回収後は、辺塚海岸の指定場所で指定時間内での取材が可能です。

【一般見学の規制】

射点の辺塚海岸周辺の地形は険しく、安全に見学できる広い平地がありません。加えて、同海岸に通じる県道74号線は幅が狭く、多くの車両が乗り入れた場合、直ちに渋滞が発生し、近隣にお住いの方々の日常の通行に支障を来たすばかりでなく、緊急車両の通行の妨げになる可能性があります。打上げ隊の静穏な打上げ環境も確保できなくなります。そのため、打上げ当日は早朝4:00~17:00まで、辺塚海岸に通じる県道74号線の一部区間について、一般車両、釣り客など関係者以外の立入りを制限させていただきます。通行制限の告知看板を2月中旬から県道74号線に設置する予定です。

本件の打上げ日と打上げ場所を報道していただける際は、一般の方々の見学ができない上記の事情も合わせて報道していただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

【インターネット中継】

当日はインターネット中継を行う予定です。通信状況次第では録画放送になります。

【情報発信】

打上げやインターネット中継に係る情報発信は以下の通り行います。

3月11日まで 地域コトづくりセンターHP <https://kotozukuri.eng.kagoshima-u.ac.jp/top/>

3月12日以降 Team KROX 公式ツイッター <https://twitter.com/kroxteam>

【打上げ日までの作業内容】

機体の重心位置の微調整、機体と地上とのデータ通信の確認、ペイロードの搭載、支援スタッフとの打合せ、作業手順の確認など。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

今後の新型コロナウイルス感染症の影響次第では、打上げ実験の予定を変更する場合があります。その際は、別途お知らせいたします。

【鹿児島ハイブリッドロケット研究会のご紹介】

鹿児島大学大学院理工学研究科地域コトづくりセンター所管 鹿児島ハイブリッドロケット研究会。現在、会員34名（代表：片野田洋（理工学研究科）、副代表：高口裕芝（第一工科大学）、企業8社、他一般会員10名、学生会員16名）。

【Team KROX 代表からのコメント】

昨年から開発を進めてきた3号機が完成しました。一般の方の見学を受け入れることができないのは残念ですが、2号機に続き打上げ実験が成功するよう準備に万全を期したいと思います。

【肝付町長からのコメント】

鹿児島ロケット2号機から鹿児島ハイブリッドロケット研究会と本町との共催実施となりました。機体製作・打上げに関しましては研究会が担うこととなりますが、本町としても打上げ環境の整備等、万全の体制で打上げを成功させたいと思います。

【用語解説】

ハイブリッドロケット：高分子化合物の固体燃料を液体又は気体の酸化剤で燃焼させるロケット。燃料が爆発しないのが最大の長所。Team KROX ではアクリル樹脂等の燃料を液体酸素で燃焼させる方式を採用。機体の構成部品は、プラスチック、酸素、ステンレス鋼、電子部品、ガラス繊維強化プラスチック（胴体）。有害物質を使っていないため、海を汚染しません。

【問い合わせ先】

鹿児島大学大学院 理工学研究科 地域コトづくりセンター
橘 まき 特任専門員 E-mail: kotozukuri@gm.kagoshima-u.ac.jp

肝付町企画調整課宇宙のまちづくり推進係 中村、矢野
電話 0994-65-8422 FAX 0994-65-2587
E-mail: space@town.kimotsuki.lg.jp



プレスリリースへのご質問に対する回答は、Team KROX のホームページ

<http://www.mech.kagoshima-u.ac.jp/~katanoda/hybridrocket.html>

に随時掲載いたします。電子メールでの回答はいたしませんので、ご了承ください。また、Team KROX 代表（片野田洋 教授）への電子メールや電話でのご質問は、打上げ準備の妨げになりますので、ご遠慮ください。

報道機関向け 小型ハイブリッドロケット (鹿児島ロケット3号機 ユピテル号) 打上げ実験の安全教育と 機体・パイロード公開のご案内

1. 日時 令和4年3月3日(木) 13:00受付開始, 13:30~16:30
2. 場所 鹿児島大学工学部 稲盛会館 (別紙2参照)
3. 受講要領
 - (1) 打上げ実験に現地に取材に来られる方が未定の場合でも, 1社から2名以内安全教育にご参加ください。代表2社以外も, 現地取材に来られる報道機関は受講必須です。
 - (2) 安全教育に出席されなかった方は, (1)の署名をもって安全教育の出席者から説明を受け, 内容を十分に理解した事を示す意思表示といたします。
 - (3) 安全教育の際に, 打上げ実験の取材申込書と車両の乗入許可証を配布します。打上げ実験を取材される方が決まりましたら, 取材申込書に直筆でご署名いただき, 3月9日(水) 17:00までに 5. の申込先に電子ファイルで提出してください。
 - (4) 式次第は以下のように予定しています。今後の新型コロナウイルス感染症の状況次第では, オンライン形式に変更する可能性があります。
 - 第1部 安全教育(13:30-14:30)
 - 第2部 機体・パイロード公開(14:40-16:30)
 1. 主催者挨拶
 2. パートナー企業ご挨拶
 3. 機体概要説明
 4. パイロード紹介
 5. 質疑
 6. 記念撮影
 - (5) 当日受けをいたしますが, 添付の受付簿にご来場の目的として安全教育の受講, 映像・音声の記録のいずれかに○をつけていただきます。映像・音声を記録される方は安全教育の聴講に集中できないと思われるので, 同じ方が打上げ実験の取材をされる場合は受講された方から内容の説明を受けていただきます。
 - (6) 新型コロナウイルス対策として, 2月17日(木)以降に体温が37.5℃を超えた方は来学をご遠慮いただき, 代理の方を5. の申込先にご連絡ください。

4. 申込方法

下記事項をご記載の上、2月17日(木)17:00までに5. の申込先へ電子メールで申し込んでください。件名は「安全教育の申込み」としてください。

- (1) 報道機関名
- (2) 参加者氏名(全員)

5. 申込先 鹿児島大学大学院 理工学研究科

地域コトづくりセンター 事務局

E-mail: kotozukuri@gm.kagoshima-u.ac.jp

6. 技術的な問い合わせ先

Team KROX 事務局 佐藤哲朗

E-mail: satou3530@comet.ocn.ne.jp

別紙 2

